



WELCOME to Kawasaki Robotics

Kawasaki Roboticsへようこそ。

私たちは産業用ロボットのリーディングカンパニーとして 50 年以上の歴史を持ち、そこで培われた技術を活かし、ロボットを通じて社会課題を解決し

“人とロボットが共生する社会”を目指しています。

この冊子では、パーパス・歴史・大切にしている価値観・行動指針そして Kawasaki Robotics の視覚的ルールを紹介します。

“ロボットと生きる 喜び豊かな未来をささえる”

この冊子を通じて、我々のパーパスへの理解を深め、体現し、貢献できるのかを考えるきっかけとなることを期待しています。“One Team”として一緒に成し遂げていきましょう。

“

パーパスは国や地域の違いを超え、私たちがKawasaki Roboticsのチームとして一丸となるための共通の指針です。

私は、初めてパーパスを聞いた時に大きな喜びを感じました。従業員の人たちが会社の方向性を真剣に考えてくれていたこと、従業員の声を言語化してくれていたためです。私は、「世界で一番役に立つロボティクスメーカーになる」ことをロボットディビジョンで実現したいと考えています。この想いは、これまで私が「役に立つためにどうしたらよいのか」を考えて行動し、その結果、関係する方々と喜びを共有できた経験から生まれたものです。この経験とパーパスとが一致しており、とても共感しています。

パーパスを記憶し、唱えるだけでは、パーパスが掲げる世界を実現することはできません。パーパスは、それを実現するために必要な「大切な価値観」や「行動指針」で構成されています。大切なのは「皆さんにとっての大切な価値観・実現したいこと」と「ディビジョンパーパス」がどのように結びついているのかを改めて考え、日々の行動・判断基準としていくことです。一人一人の力を合わせて、パーパス実現に向けて行動していきましょう。



Kenji Bando
Executive Officer

Robot Business Division,
Precision Machinery
& Robot Company

私たちは、世界に現存する世界最古の産業用ロボットメーカーです。1969 年、当社は国産初の産業用ロボット「川崎ユニメート 2000」の量産を開始しました。「ロボット工学の父」と呼ばれるジョセフ・エンゲルバーガー博士は、世界初の産業用ロボットメーカーであるユニメーション社を設立しました。世界の他の国々は、当時全く新しいアイデアに躊躇する中、川崎重工はいち早く決断し、1968 年に国産産業用ロボットの開発に関する技術提携を結ぶことで、産業用ロボット事業の一步を踏み出しました。私たちはロボットを活用することで「3K (きつい・汚い・危険)」作業から人間を解放することを目標に掲げています。

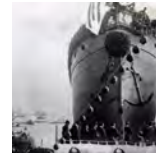
川崎重工は、総合重工メーカーとして航空宇宙、鉄道車両、船舶およびモーターサイクルなど陸海空の広い事業領域を持ち、幅広い技術を有し、数多くの挑戦をしてきました。それらの DNA は、次世代のロボットの開発やお客様の課題解決をするためのノウハウとして Kawasaki Robotics に引き継がれています。

📄 Kawasaki Robotics の 50 年 —ものづくり革新の旗手として | ANSWERS (アンサーズ) | つぎの社会に向かうKawasakiのこたえ | 川崎重工業

Kawasaki Robotics: 半世紀以上の歴史を持つ 産業用ロボットのリーディングカンパニー

Kawasaki Heavy Industries Interesting Facts

1878



Kawasaki RoboticsのDNAには、100 年以上に渡る川崎重工の挑戦の歴史が受け継がれています。

川崎正蔵が東京に川崎築地造船所を創設。自らの商人としての経験を生かし、西洋の造船技術を駆使して、より広く、安定し、より速い日本船を建造した。

1896

松方幸次郎が、川崎造船所（旧川崎築地造船所）の初代社長に就任。松方幸次郎は鉄道、航空機、海運へと事業を拡大しただけでなく、日本初の 1 日 8 時間制を導入した。また、熱心な美術収集家としてモネとも親交があり新進の日本人芸術家に西洋の美術教育をもたらした。

1911



国産化第一号蒸気機関車が完成し、品川 - 横浜間を走行。川崎重工は 1971 年までに計 3,237 両を製造した。



1922

川崎航空機一号機が完成。現在、川崎重工は航空機、航空機エンジン、ヘリコプター、人工衛星、宇宙ロケットなどあらゆるものを製造している。

1969



日本初の産業用ロボット「川崎ユニメート 2000」が誕生。国内外の自動車工場に導入され自動車の自動化の一助となった。



1972

モーターサイクル「Z1」を発売。当時国産では最大排気量のモーターサイクル カワサキ 900 スーパー 4 のエンジンには、川崎重工初の 4 ストロークエンジンを搭載するなど、ユニークな機能を備えたベストセラーバイクとなり、二輪車のパイオニアとしてのカワサキブランドを確固たるものにした。

1973



川崎重工初の 2 ストローク 2 気筒水上バイク「JET SKI®」を発売。その名称は、今日では水上バイクの代名詞となった。



1983

ニューヨーク市地下鉄電車 (R-62) を 325 両納入。丈夫で錆びにくいステンレスを使用したことで、それまでの鋼鉄製のイメージを一新し、クリーンで安全な地下鉄のイメージを築いた。

1991



川崎重工のトンネル掘削機が過酷な条件の中でユーロトンネルの掘削に成功。



2004

台湾高速鉄道向け車両を初出荷。当社を含む日本企業 7 社によって設立された台湾新幹線株式会社が台湾新幹線を納入。最高時速 300 km で台北 - 高雄間を最速 1 時間半で結んだ。

2015



最高時速 300 km 超えのモーターサイクル「Ninja H2/H2R」を発売。自社開発のスーパーチャージャー（機械駆動遠心式過給機）にはガスタービン技術を活用。車体設計には航空機の空力制御技術を用いるなど、川崎重工の最新技術が随所に活かされている。



2019

世界初の液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」が進水。川崎重工は持続可能な次世代エネルギーとして水素社会の実現を目指している。

私たちは、お客様を大切に、
期待を超えるソリューションを提供します。

WE ARE ROBOTICS

私たちは半世紀以上に渡りお客様からの期待に応え続けることで
産業用ロボットの老舗企業として信頼と実績を積み重ねてきました。
Kawasaki Roboticsのアームには、川崎重工グループとして培われた
陸海空の多岐にわたる製造技術が注ぎ込まれています。

そして、新幹線の塗装、船舶の溶接、ジェットエンジン部品の精密加工など
ユニークで幅広い適用やソーシャルロボット、医療ロボット開発にも挑戦してきました。
その挑戦は留まることはなく、新たなパートナーとの関係構築や
新分野へも挑戦し続けています。

購入後も、世界中にサポートネットワークを展開しており安心してお使いいただけます。
稼動からリプレイスまでのライフサイクルに「ONE STOP」でお客様に寄り添い、
ライフサイクルコスト最適化と、予知保全機能により設備の突発故障“0”の安定稼動を提供す
るなど、生涯にわたるエンジニアリングサービスを提供しています。

- Kawasaki Robotics Partner 向け交流・情報サイト Kawasaki Community Site
- カワサキロボットスクール（特別教育）
- 24時間365日の緊急ホットライン

3つの重要戦略領域

当社は国産初の産業用ロボット「川崎ユニメート」を製造して以来、自動車製造工程をはじめとする幅広い業界で「3K（きつい、汚い、危険）」労働を改善してきました。

半世紀以上の歴史の中で培ってきたロボット技術を活用して、幅広い社会課題の解決に取り組んでいきます。

産業用ロボット

進歩をささえる

医療用ロボット

命をささえる

ソーシャルロボット

人の隣でささえる



Our Core Values

私たちは、産業用ロボットのパイオニアとして確かな技術を1968年以来培ってきました。その技術力を活かし、産業分野はもちろんのこと、社会や生活のあらゆる場面にも貢献するソーシャルロボットへと領域を広げていきます。この世界に生きる一人ひとりが情熱ややりがい、ワクワク感を持ち、自分らしく笑顔あふれる、より豊かな人生を歩む理想的な世界の実現を目指します。私たちは総合ロボットメーカーとして、社会のあらゆる領域で変革と安全安心を提供し、幸せや喜びの土壌をつくることで、社会を支え続けていきます。

大切な価値観：自分たちの力を信じ新たな価値で社会に貢献する

情熱・ワクワク

一人ひとりが情熱をもち、ワクワクしながら、立ちはだかる困難なことにも挑戦し、活動の場を広げる。

価値の創出

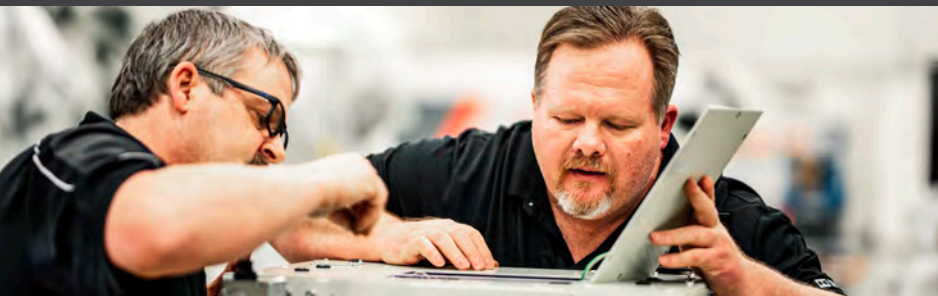
事業の種を日常の中から発見し、お客様だけでなく、人・組織・社会に行動変容が起こる価値を創り出す。

人中心

一人ひとりの心の豊かさを第一に考えた、ロボットと協存する社会を実現する。

提案力

広く社会を見渡すことのできる豊富な技術力や経験値を礎に、誰もが驚く一歩先を見越した提案力を発揮する。



行動規範

当事者意識を高め合う

- ☐ 自分たちの可能性を信じ、率先して行動する。
- ☐ 絶えず知識・技術を獲得し、常に他者にも伝え巻き込んでいく。
- ☐ 失敗を恐れず声をあげることで、変化をおこす。

違いや良さを認め合う

- ☐ 自分を知る。そして、自分以外へも関心を持ち、仲間を尊重する。
- ☐ 一つのチームとして、心理的安全性を確保し、協力し合うことで、相互理解を深める。
- ☐ 社会課題を解決する組織として、活力をもって意見を交わし合う。

共創を提案する

- ☐ 社会課題の解決に向け、思いを共にする社内外のパートナーを増やしていく。
- ☐ 互いの強みを生かしながら、新たな価値を創り出す。
- ☐ 時にはリスクをとる勇気を持ち、互いに手を取り合うことで困難な課題も乗り越えていく。

新たな気づきを場に提供する

- ☐ お客様の要望とその背景に思いを寄せることで真因を見極め、真に必要な提案をする。
- ☐ 一歩、お客様の期待を超え先回りする、提案力を発揮する。
- ☐ 技術力と創造性をもって、情熱高く、ワクワクする提案を繰り返し続ける。

Kawasaki Brand Quick Guide

Robotics シグニチャーは Kawasaki Robotics ブランドのシンボルとして重要な
エレメントです。表示する場合は、かならずオリジナルデータを使用してください。
詳細は『川崎重工グループ ビジュアル・アイデンティティガイドライン』および
『Kawasaki Robotics Signature Design Guidelines』をご確認ください。

Robotics Signature



クリアスペース



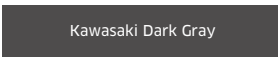
Color

Brand Color

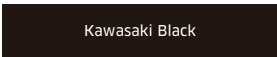


#E60012

Primary Color

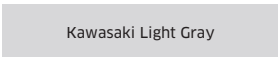


#4C4948



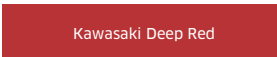
Kawasaki Black

#000000



Kawasaki Light Gray

#EFEFEF



Kawasaki Deep Red

#C13932

Supporting Color



Kawasaki Green

#3EB370



Kawasaki Orange

#E77400



Kawasaki Purple

#9C7399



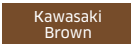
Kawasaki Deep Blue

#215787



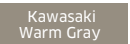
Kawasaki Turquoise Blue

#5CB5AA



Kawasaki Brown

#784D23



Kawasaki Warm Gray

#AAA282



Kawasaki Blue

#72A1C7

モノクロ表現



ネガティブ表現



Typography

英文推奨フォント

FF Clan

ABCDEFGHIJK
ijklmnop,.0123

英文代替フォント

Verdana

和文推奨フォント

モリサワUD新ゴ

東京神戸あいう
アイウエオカキ

和文代替フォント

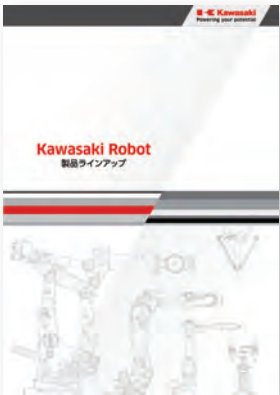
メイリオ

ビジュアルエレメント “イノベーショングリッド”



Kawasaki Redはグループブランドマーク
に使用されている最も重要なカラーであり、
視覚的にも強い印象を与えます。そのため、
Kawasaki Redを多用しすぎるとグループ
ブランドマークの視認性が低まり、印象が
散漫になります。川崎重工らしいレッドの
印象を残すため、使用する場合はポイント
使いにとどめてください。

<https://kawasakirobotics.com>



Social Media

ソーシャルメディアを活用してKawasaki Robotics 情報を発信
しています。積極的なフォローをお願いします。

ロボットディビジョン公式アカウント

<https://www.youtube.com/@KawasakiRoboticsJP>

川崎重工グループ公式アカウント

<https://www.facebook.com/japan.kawasaki/>

<https://www.youtube.com/@KawasakiGroupChannel>



ロボットと生きる 喜び豊かな未来をささえる

Kawasaki Roboticsの未来へようこそ。

Kawasaki Robotics の使命は、私たちの技術が人々の生活を豊かにする未来をささえることです。このパーパスを実現するために、Kawasaki Robotics に関わるすべての人の力を結集し、戦略を立て、実行していきます。

協働ロボットや遠隔制御技術からサービスロボットまで、ロボットのラインナップと応用分野を拡大し、社会に貢献し続ける“ロボティクス サービス プロバイダー”を目指します。私たちは、ロボットが人々の豊かな生活を支援できる、安全でつながりのある未来の創造を目指しています。



ロボットと生きる
喜び豊かな未来をささえる

推动人机和谐共生 携手共筑精彩未来

推動人機和諧共生 攜手共築精彩未來

사람과 로봇의 행복한 공존,
Kawasaki Robotics 가 함께 합니다

ใช้ชีวิตร่วมกับRobot
สนับสนุนอนาคตที่น่ายินดีและอุดมสมบูรณ์